

多様なオフィス空間提案

四日市事務機センター 本社社屋リニューアル

大型モニター、TV会議を導入

複合機やプリンターなど事務機の修理・販売を手掛ける四日市事務機センター（本社四日市市日永西2の18の7、佐野智成社長、電話059・346・5411）は、本社社屋を改装した。大型モニターやテレビ会議システムを導入するなど、多様なオフィス空間を体感できるようにした。改装を機に、提案営業の一層の強化を図る。

（四日市・倉科信吾）

本社社屋は3階建て、延べ床面積約2千平方メートル。従業員が増え手狭になつてきたことから今回、改装することにした。

大型モニターは、会議室や休憩室など各フロアに計20台を設置した。大画面を活用して、特に健康経営や

福利厚生向けのクラウドシステムのアプリケーションの提案に力を入れる考えだ。

テレビ会議システムは、2階に和洋2タイプの部屋を用意し、実際に使い勝手などが体感できるようにした。テレワークなどのニーズに対応していく。

1階には、好きな席で仕

事ができる「フリーアドレス」のスペースを確保。3階には、定員45人のセミナールームも設けた。ワイン教室などの開催を計画しており、顧客とのコミュニケーション促進につなげる考えだ。

このほか、本社敷地内に倉庫・修理センターを新たに建設し、本社社屋に保管していたパソコンなどの部品を移した。本社改装を機に、請求書や伝票を電子化しており、書類を5分の1に削減。スペースの有効活用につなげた。非常食を備蓄するなどBCP（事業継続計画）対策も強化している。

佐野社長は「社内外の交流を通じて情報発信の拠点としたい」と話している。



テレビ会議システムが体感できる



1階にはフリーアドレススペースも

